

Builder:  
トモノ建築設計事務所

Note:  
軽井沢町/S邸  
家族構成/5人



性能とデザイン性を兼ね備えた  
美しいフォルムの家

最終的にはやっぱり人柄。  
健やかで快適な住まいは  
信頼と安心があつてこそ

清楚で落ち着いた佇まいのS邸に、爽やかなグリーンが彩りを添えています。東京都心のタワーマンションから一転、Sさんご夫妻は娘さんの小学校入学を機にここ軽井沢へと移り住みました。「開放的で地に足のついた生活は、こんなにも安心感があるんですね」と奥様。太陽と大地、緑と自然のある暮らしに大満足の様子です。

「求めていたのは別荘ではなく、普段使いの家です」とご主人。理想としたのは、ナチュラルなイメージで省エネに暮らせる快適な住まい。そんな思いをかたちにしたのは、トモノ建築設計事務所でした。きっかけはホームページで目にした同社の家です。さらに性能や素材、設計へのこだわり、住まいに対する姿勢や取り組みなど、知るほどに「こしかない」と確信。実はご主人、仕事の環でホームページ制作も手がけています。つくり手側として裏が見えるからこそ、ピンときた直感は「はずさないんです」と笑います。

こうしてスタートした初めての住まいづくり。東京と長野の遠

距離でしたが、ストレスなく順調に進んだそう。その始まりは、「真面目で正直」が第一印象だったという伴野社長との出会いです。「結局、家をつくるのは人なので」とご夫妻。シンプルですが、それが安心してまかせられた理由です。新生活にふさわしい、素敵な住まいが誕生しました。



A\_庭には白樺やヒメシャラ、もみじなどを配置。「将来的に雑木林のようになれば」と話すご主人は、芝生の手入れにも余念がない。「夫の前世は森の精だったかも」と奥様に笑われるほど自然が大好き。B\_木の素材感に包まれた玄関ホール。グリーン芝生と石畳が相性よく、ここからの眺めだけでもさまになる。C\_アプローチに沿って植樹された、まだ初々しい幼木。今後の生長も楽しみ。



F



D



E

家中どこでも心地いい  
気候風土に馴染んだ  
軽井沢仕様の家

お二人の要望は、トモノが得意とするところでもありません。例えば、流行にとらわれないナチュラルなデザイン。室内にはホワイトと木目がバランス良く配され、窓越しに広がる豊かな緑も実に明媚です。自然光も明るく、清々しさに満ちたリビングはどこにいても最上級の居心地に。

またこれだけ広い空間にも関わらず、暑さ寒さ対策も心配は無用。かつて賃貸の大きな戸建てに住んでいた頃、耐え難い寒さだったとご主人は振り返ります。「今思えば、断熱材など対策がなされていなかったのかも。見えない部分は怖いですね」。その点、同社のこだわりともいえる高性能と耐久性は、きちんとした数値と根拠で示され、誰もが納得できる安心感があります。「室内に温度差がなく空気がフラットなんです。体に負担がかからない感じも気持ちよくて」とご夫妻。地域に馴染んだ住まいは、人にも優しい。そんなS邸は、夏は涼しく冬はあたたか、年中いつでも快適な空気に包まれています。

家族5人で始まった信州での新生活。これまでの環境から一転したものの、すぐに溶け込むことができたそう。「逆に東京のマンション暮らしはもう無理です(笑)」と奥様。「ああ、これが我が家。やっぱりいいね」と、今では一日中のんびり家族で過ごす何気ない日常が、最高の幸せと笑います。



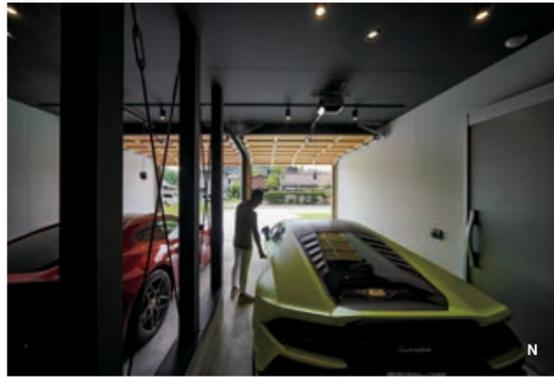
H



G

F\_奥様が即決したアイランドキッチン。リビングでくつろぐ家族を感じながら調理ができる。 G\_リビングの階段下に設けた多目的室は絵本などが収納され、「秘密基地」として3人のお子さんたちにも大好評。 H\_日中は1階で生活をし、2階は就寝用にと使い分け。階段をあがりながら就寝のスイッチが入るため、ほっとできるそう。

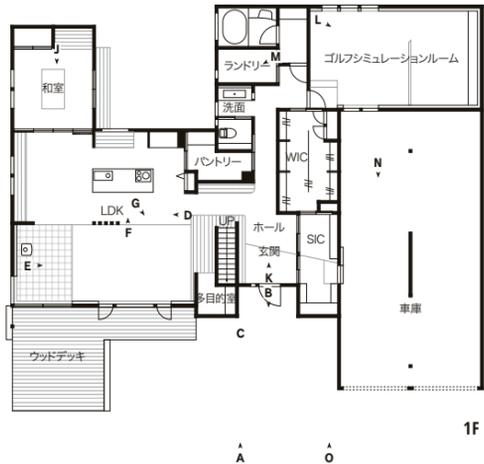
D\_好きな場所でくつろげるようにと、リビングにはソファではなく大きなクッションを用意。天井に埋め込んだスクリーンを出して、家族みんなで映画を観るのが楽しみだそう。 E\_段差を設けることでメリハリのある空間に。床は板張りや絨毯、土間など、それぞれ違う素材を配し、シーン分けしている。



N\_ご主人の強い要望により、当初2台だった車の収納台数を4台に拡大。東京では駐車場の確保が難しいため、今は「天国のよう」とご満悦。 O\_エレベーター待ちが当たり前だったマンション暮らしから一転、「地に足のついた生活は本当に快適」と奥様。



PLAN



DATA

敷地面積 — 1306.86㎡ (394.54坪)  
 延床面積 — 345.72㎡ (104.37坪)  
 1F面積 — 265.40㎡ (80.12坪)  
 2F面積 — 80.32㎡ (24.25坪)

工法/木造在来軸組工法 基礎/ベタ基礎 構造材/柱:集成材、梁:米マツ・レッドウッド集成材、土台:ヒノキ 断熱材/天井:硬質ウレタンフォーム100mm、壁:硬質ウレタンフォーム100mm+45mm、基礎:ポリスチレンフォーム100mm(立上部)・50mm(低盤部) 主な外装仕上げ/屋根:ガルバリウム鋼板、外壁:ペルアート+レッドシダー板張り、その他:真砂土洗い出し土間 主な内装仕上げ/天井:クロス・板張り(ナラ)、壁:クロス・タイル・漆喰・ジョリパット、床:フローリング・タイル・畳・カーペット 開口部/樹脂サッシ トリプルガラス キッチン/サンワカンパニー エレベーターEX キッチン熱源/IHクッキングヒーター バスルーム/LIXIL スパージュBX 暖房の種類/高効率エアコン・薪ストーブ C値/0.25 UA値/0.27

I\_2階には一面に絨毯が敷きつめられている。ふかふかの感触で抜群の肌触り。 J\_リビングからの続きで小上がりになった和室は、ちょっと腰かけるにも便利。存在感のある中央の掘りごたつは、ずっと大切にきたトチの木の一枚板に合わせてデザインされた。 K\_玄関から壁に沿ってカウンターを設置。腰かけにもなるため、ご両親や子どもたちが靴を脱ぎ履きする際に役立っている。 L\_せっかく軽井沢で暮らすなら、ゴルフをことん楽しみたいというご主人の要望でつくられたゴルフのシミュレーションルーム。人工芝とスクリーンが広がる本格派だ。 M\_来客が多いため、浴室とあえて分けられたランドリースペース。スロップシンクがあり、森で遊んで泥だらけになった子どもたちの服もここでじゃぶじゃぶ洗えて便利。



Owner:  
Sさんご家族



Builder:  
担当/伴野さゆりさん

Q1. 家づくりで一番大切にされたことは?

A 妻の要望をフォローするなど、こちらの意図がきちんと伝わるよう、常にコンセンサスを取るようになりました。

Q2. こうしておいてよかった、と思ったことは?

A 2階を寝室にしたことで、オンとオフの切り替えがしやすいこと。また太陽光パネルのおかげで災害時も安心です。

Q3. このビルダーさんに頼んでよかったことは?

A フットワークの軽さと、長くお付き合いできるところ。この家が一番よく知っている相手なので頼りになります。

Q1. この家のコンセプト、ポイントは?

A 高性能で冬もあたたかなナチュラルテイストの住まい。白をベースに木やタイルを使い、優しいイメージにしました。

Q2. この家の見どころを3つに絞るなら。

A 床素材でシーン分けされた広いLDK、和室や浴室から眺められる裏庭の配置、ゴルフのシミュレーションルーム。

Q3. 家づくりで一番大切にしていることは?

A お施主様を大切な友人や身内と捉え、何十年後もずっと笑顔でいられるような家づくりをご提案しています。

